

旭城
個別施設計画

令和3年3月

尾張旭市

1 旭城個別施設計画策定の目的

本計画は、「尾張旭市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとの方向性を示すため、旭城の状況やあり方、今後の修繕計画などを具体的に示すために策定する。

2 対象施設

旭城

3 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和38年度（2056年度）まで

4 施設の状態等

<総合評価表>

施設名	建物評価			維持管理費※ (1㎡あたりの維持管理費平均)
	試算上の区分	構造躯体 (資産老朽化比率)	構造躯体以外 (劣化状況調査結果による健全度)	
旭城	長寿命化	88%	55	4,201,010円 (9,114円)

<建物評価表>

建物基本情報					
施設番号	施設名	建築年度	構造種別	耐用年数	延床面積
E201	旭城	昭和52年	RC造	47年	460.94㎡
		(1977年)			
構造躯体の健全性					
耐震基準	耐震診断	耐震補強	著しい腐食や劣化	資産老朽化比率	
旧耐震基準	合格	不要	なし	88%	
構造躯体以外の健全性					
屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
A	B	C	C	C	55

<維持管理費一覧>

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	5年間の平均
4,097,601円	4,231,744円	4,379,586円	4,114,532円	4,181,587円	4,201,010円
延床面積		1㎡あたりの維持管理費平均※			
460.94㎡		9,114円			

※過去5年間の工事請負費を除く。

5 対策の優先順位の考え方

市民の余暇活動の向上を図る目的で設置された施設であり、スカイワードあさひと一体で指定管理を行っている。

本格的な茶室を備え、文化振興の拠点としてさくらまつりなどでも利用されている。また、名鉄瀬戸線の車窓や城山街道から見える「尾張旭のお城」というシンボリックな一面もあるが、建築物としての歴史的な価値は高くない。

建築後 40 年程度が経過しており、老朽化への対策が必要な時期であるが、設置目的に照らし、施設の利用率等を考慮したうえで、対策の優先順位を決める必要があるとともに、統合や廃止についても検討を要する。

6 修繕計画

計画的に施設の大規模改修や長寿命化工事を実施するにあたり、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）などを参考にし、本個別施設計画では目標耐用年数を 80 年と設定する。

目標耐用年数を目安として、計画的な大規模改修等の実施について、保全マネジメントシステム（BIMMS）を活用した修繕計画は下表のとおりとする。

建物名称	建築年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
旭城	1977	0	0	0	0	48,678	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費（40%）		0	0	0	0	19,471	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費税（10%）		0	0	0	0	6,815	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	74,964	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056
0	0	0	0	0	0	0	8,205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,250
0	0	0	0	0	0	0	3,282	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,100
0	0	0	0	0	0	0	1,149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,135
0	0	0	0	0	0	0	12,636	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,485

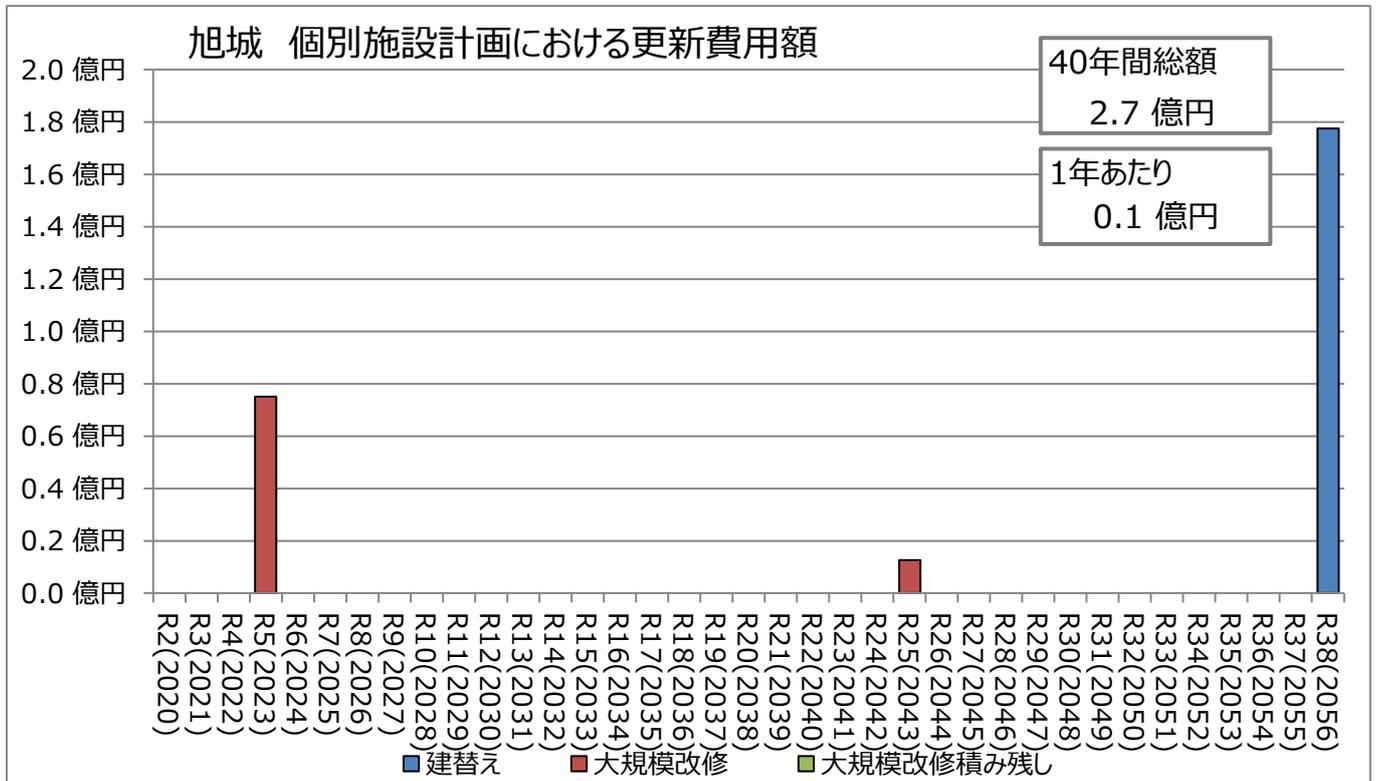
総合計	265,085
-----	---------

7 対策費用

目標耐用年数を80年と設定した修繕計画によって得られた対策費用と、耐用年数を60年と仮定し試算した尾張旭市公共施設等総合管理計画における対策費用を比較し、効果額（尾張旭市公共施設等総合管理計画への影響額）を算出する。

(1) 修繕計画によって得られた計画期間の対策費用額

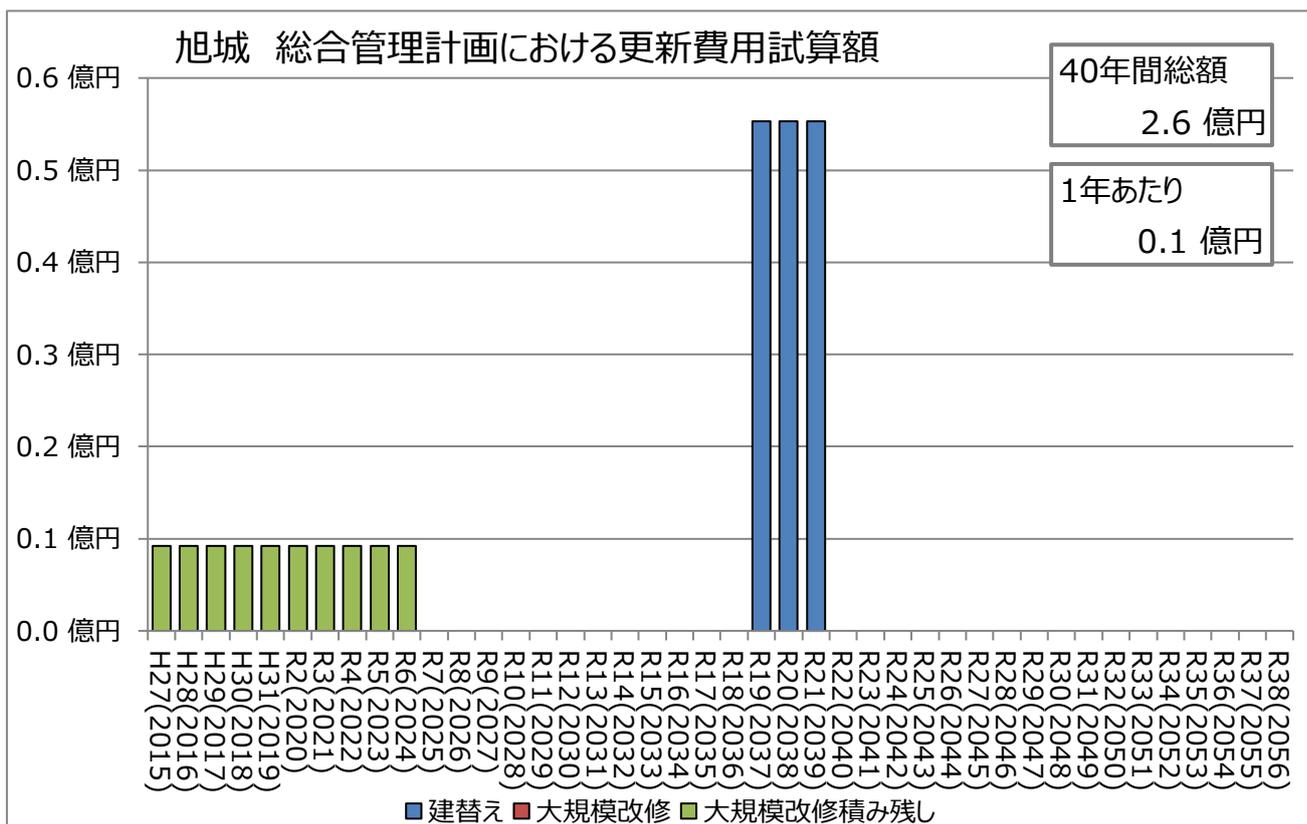
265,085 千円



(2) 尾張旭市公共施設総合管理計画における更新費用額（耐用年数 60 年）

ｽｰﾌﾟ・ｼﾞｬｰ系施設の更新単価（大規模改修：20万円/㎡、建替え：36万円/㎡）

旭城	
30年経過時の大規模改修（2007年）	20万×460.94㎡=92,188千円
60年経過時の建替え（2037年）	36万×460.94㎡=165,939千円
合計	258,127千円



(3) 長寿命化による効果額（尾張旭市公共施設等総合管理計画における対策費用との比較）

265,085千円 - 258,127千円 = 6,958千円